



ゼリーづくり



お客さんが試食するためのゼリーを作る仕事を体験。カップ何百個分も作るの、「ドロッパー」とよばれるじょうごのような形の器具を使っています。この日はピーチ味を作りました。

かんてんぱぱ製品を製造する北丘工場にせん入！工場に入る前には、何重にも衛生的に問題がないかチェックしました。

工場に入る前



散歩

かんてんぱぱガーデンは、社員が育てている樹木や花、こけなどいっぱい！散歩するのも楽しいです。

取材したのは…

- 飯田市6年 三輪春奈記者
- 長野市6年 井上広章記者
- 富士見町5年 安藤菜記記者
- 長野市5年 河原卓明記者

水くみ場

おいしい地下水を飲める「水くみ場」。毎日ペットボトルなどに入れていく人もいるなど、地元の人や観光客でにぎわっています。



いろんな仕事の現場を伝える「こども記者のしごとリポート」。今回は夏休み中の8月4日、「かんてんぱぱ」で知られる伊那食品工業(伊那市)をこども記者4人が訪れました。さまざまな仕事を体験した様子と、だれでも入場できるかんてんぱぱガーデン内を写真で紹介します。



広いかんてんぱぱガーデンを掃除するのは、毎朝の社員の仕事だそうです。4人のこども記者は、ブローという風を吹き出す機械を持ち、落ち葉やほこりを1カ所に集める掃除方法を体験しました。



掃除体験



工場

工場内部は多くの部分が機械化されていて、自動的に製品が作られ、異物が入っていないかなどが検査されていました。

広さ約3万坪(東京ドーム2個分くらい!)で、さまざまな草花や山野草園が整備されています。レストランやそば店、美術館などもあります。店によって定休日や営業時間が異なります。<わしくはホームページhttp://www.kantenpp.co.jp を見てね。>

しんまい図鑑

新聞記者に欠かせないものといえば…ペン！ ということで、今回はペンについて書きます。

信濃毎日新聞社の編集局(長野本社5階)にはいろんなペンがたくさん入った引き出しがあります。記者は、使い道や好みに合ったペンを、必要な分持っていきます。やはり、黒や青色のボールペンを使う人が多いです。屋外での取材も多いので、急に雨が降ってきたりした時には、にじみにくい普通のボールペンが頼りになります。いつでもどこでも書けるように、いろんなペンを何本も持ち歩きます。



少し太めのペン。耐水性で書きやすくて人気

取材先ではたくさん資料をいただくこともあれば、そんな時は、重奪なところも蛍光ペンでマーク!

水性ペンなので外で使う時はにじみが心配ですが、書き味がばつくんなのでファン多し!

ふつうのボールペン。赤色は、書いた記事に間違いがないかラインを引きながら確認したり、直したいある時によく使うよ

「精霊の守り人」 「獣の奏者」

を書いた上橋菜穂子さんが来るよ!

こどもの日特別号でインタビューした作家、上橋菜穂子さん(52)が、上水内郡信濃町で講演します。野尻湖ナウマンゾウ博物館の開館30周年記念です。



- 日時 9月28日(日)午後2~4時
- 会場 信濃小中学校 信濃町古間491
- 定員 500人(先着順)
- 参加費 小中学生は無料 高校生以上500円

申し込み方法

- ①住所 ②名前 ③電話番号 ④高校生以上か、小中学生かの区分
- ⑤会場までの交通手段 ⑥小中学生は学校名、学年 を書き、野尻湖ナウマンゾウ博物館へ。
- 〒389-1303 上水内郡信濃町野尻287-5
- ファックス 026-258-3551 メール nojiriko@avis.ne.jp
- 問い合わせは同館(☎026-258-2090)